

もしもの時のために、あなた自身が望む医療やケアについて考えてみませんか。信頼する大切な人、医療・ケアチームといっしょに、元気な時から繰り返し話し合い、共有することを「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」と言います。



今後体調や病状の変化、思わぬ事故に遭遇することがあるかもしれません、あらかじめ意思を示しておくことで自分が望む生き方ができ、自分の意思に反した不必要的な治療を受けなくてもよくなります。また、あなたの希望を伝えることができ、家族や周りの人の負担軽減にもつながります。

「わたしの想い」は、法律的な効力はありません。
この「わたしの想い」は、気持ちの変化が起きた時に、何度も書き換えることができます。

亀岡市では、医療・介護・福祉の専門職が集まり、市民のみなさまの想いを尊重するため、亀岡市版ACPを作成しました。

亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議

R7年12月 第2版

活用方法について

4つ折りにして、いつでも確認できるように、お薬手帳にはさんで保管するとよいでしょう。作成したシートの保管場所をだれかに伝えておきましょう。



『医療用語の解説』

○心臓マッサージ

心臓が停止した時に、胸部を手で圧迫することで心臓から血液を全身に送り出します。AEDなどの電気的除細動を行うこともあります。

○気管内挿管

呼吸が停止した時に、口や鼻から気管支に管を入れ、呼吸ができる状態にします。

○人工呼吸器

気管内挿管後に、人工的に機械で呼吸ができるように助けます。

○中心静脈栄養

鎖骨の下や首の太い静脈から、管を心臓近くまで入れます。そこから高力ロリーの栄養を入れることができ、食事が出来なくても長い間生命を維持することができます。

○経鼻経管栄養

鼻から胃に管を入れて、栄養剤や水分を補給します。鼻やのどに違和感があり、苦痛を伴うことがあります。

○胃ろう

胃カメラを使って、お腹の皮膚表面から胃に管を入れます。鼻やのどに違和感はありませんが、半年に1回程度、管の交換が必要です。



「わたしの想い」 ～自分らしく生きるために～

もしもの時のために、あなた自身が望む医療やケアについて考えてみませんか。信頼する大切な人、医療・ケアチームといっしょに、元気な時から繰り返し話し合い、共有することを「アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」と言います。

亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議

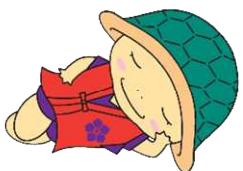
1. あなたにとって最も大切なことはどんなことでしょうか？今(現在)の気持ちを整理しながら考えてみましょう。
(3つ程度まで複数回答可)

- 家族や友人のそば(ご自宅)にいること
- 今まで通りの生活が続けられること
- 身の周りのことが自分でできること
- できる限り治療が受けられること
- ひとりの時間が保てること
- 家族の負担にならないこと
- 大切な人に思いを伝えること
- その他 (具体的に書いてください)

2. 病気やケガなどによって、日常生活を続けることが困難になったら、どのように過ごしたいと思いますか。

- 出来るだけ長く生きるための治療やケアを受けたい
- 命は短くなる可能性はあるが、積極的な治療は受けたくない
- 痛みや苦しさなどを軽減するための緩和治療やケアは受けたい
- その他

3. 人生の最終段階になったとき、どこで過ごしたいですか？



- 自宅
- 病院
- ホスピス・緩和ケア病棟
- 施設
- その他 ()

その場所を選んだ理由を書いてください

4. もし自分の考えを伝えられなくなった時に、あなたの代わりに治療や介護に関して話し合える家族や知人はいらっしゃいますか？

頼める人がいる

お名前と間柄（複数可）

_____様 ご関係()
_____様 ご関係()

（その方にお願いしたい理由）

頼める人がいない

5. 体調や病状が悪化し、治療をしても回復が見込めなくなった時、どのような対応を希望しますか。

①食事ができなくなった時

胃ろうや経管栄養（鼻から胃に管を入れる）を希望する

中心静脈栄養（心臓近くの太い血管に管を入れる）を希望する

点滴での水分補給は希望する

処置はせず、自然にまかせたい

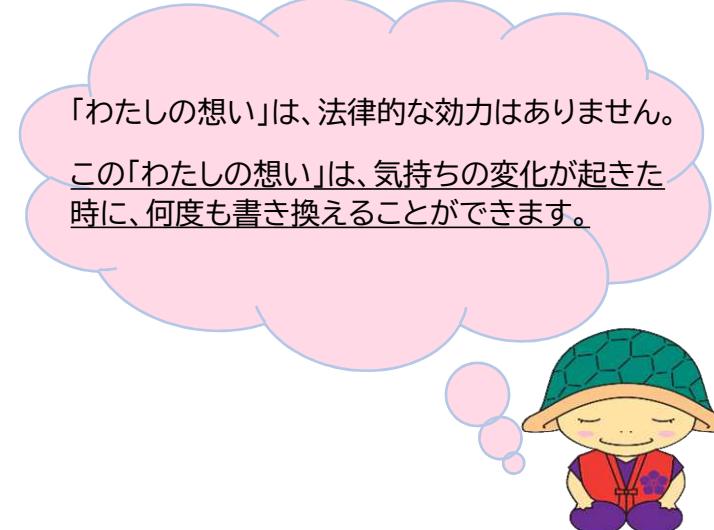
②自宅や施設で容態が急変した時

救急車を呼んで救命治療を希望する

救急車は呼ばず、自然な最期を迎える

ACPをいつしょに行った人

第 回 記入日 年 月 日



本人のお名前

③延命処置について（複数回答可）

心臓マッサージや気管内挿管・人工呼吸器を希望する

手術など積極的な治療を希望する

点滴での治療は希望する

特別な治療はせず、自然な最期を迎えたい

④その他希望すること
